



急成長する修道会 ドミニコ会東部管区

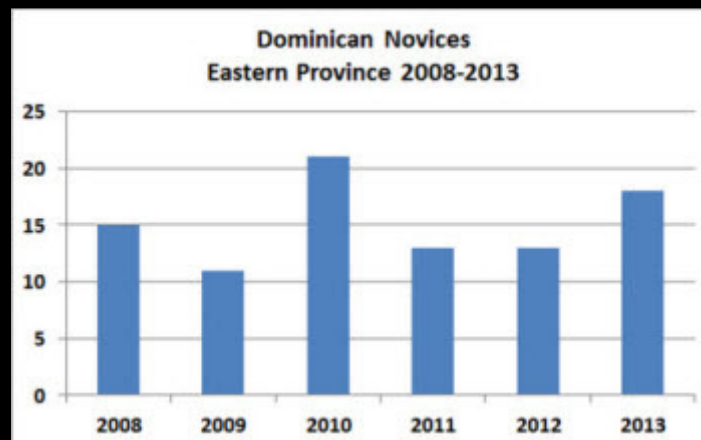


Dominican Friars
Province of Saint Joseph

(訳者注：この記事は召命担当の長であるベネディクト・クロウェル神父（ドミニコ会）へのインタビュー記事である)

Q、ドミニコ会東部管区に多くの入会者があるとのことですが、本当でしょうか？

私たちの管区は合衆国の北東部、南はヴァージニア州、西はケンタッキー州、オハイオ州までをその管轄としています。近年、この地域から常に志願者を受け入れています。2013年には18名の志願者がいました。



志願者は修道生活に入る最初の段階において、1年間にわたります。単式誓願のあと、志願者は修練者となり、荘厳誓願（つまり、死に至るまでの誓願）を終えたのち、修練者は助祭

に叙階され、1年後、司祭になります。養成期間は志願者期間を含めて7年ですが、これは4年制生大学の学位をもっているものが志願した場合です。もし共働修道者を望まない場合はこの期間は短くなります。多くの志願者が高学歴で、就業経験のあるものです。

場所がもっと必要になったため、2009年にドミニコ会学習センターを大幅に拡充したことも付け加えておきます。他の修道会がアメリカのカトリック系大学近郊にある修道院を畳んだり、売り払って引っ越している中で拡充を行ったのです。



Q、修道会の戦略のカギとなるもの、そして志願者への魅力は一言でいうと何ですか？

たくさんの戦術をもっているわけではありません。修道会のカリスマとその生き方に常に忠実たらんとしてただけです。私たちは比較的うまくやっていると思っていますが、私たち全員が「まだ取組中」です。私たちの限界にも関わらず、聖ドミニコの方法で福音を伝えるために知的な男性を主は私たちに遣わしてくださっていると思います。

私が入会した1992年の時点でさえ、召命のための活動はうまくいっていました。私は管区に志願した8人の一人でした。そのうち4人が残り、司祭に叙階されました。またワシントンD.C.にある修練院と学習センターで学ぶ学生のための養成プログラムはしっかりとしています。この養成には知的、司牧的、霊的な要素がありますが、これらは教会の伝統的な宗教養成由来のものもあれば、ドミニコ会特有のものもあります。私たちの養成はドミニコ会の会憲に則っています。

ドミニコ会に人々が惹かれる理由はきわめて単純だと思います。ドミニコ会には聖トマス・アキナスの教えとともに、知の伝統が強くなります。人々は福音を効果的に今日告げるために世界と人間を理解する強く体系的なアプローチを必要としていることを彼らは知っています。

私たちの兄弟の一人が2~3年前に述べたのですが、私たちのもて来た多くの若者は私たちの文化の中で崖っぷちに立たされた経験があるように見えました。その文化とはキリストに従おうとするなら、妥協はないというものです。彼らがこの文化から逃げているということを行っているのではなく、彼らが私たちのもて来る前に自分自身を急進化したように見えるということです。今日の世界でキリストに従おうとするなら、より厳格な何かが必要です。それは聖ドミニコによって創始され、多くの聖人を生んだ生活、800年の生きた伝統

に似た何かが必要なのです。教会史を読んだ人は誰でもドミニコ会士が知識と福音の両方で重要な役割を果たしたことを知ります。私たちは福音を説き、その文化を実践するように作られます。私たちは修道者の共同体としてこれを行っています。



世界に発信するこの共同体の証が今日、若者にとって魅力があります。私たちは聖ドミニコが考て方法でキリストに従おうとすることを見て、若者たちはその一部になろうとします。多くの人々は私たちが「召命のブーム」にあると聞いて、何が起きているのかを見たくて私たちに訪れに来ているように見えます。ある種の勢いが私たちにはあります。召命を考えている若者が私たちの所を訪れに来る場合、ドミニコ会の学習センターに日に4回祈りのために集まる85人の修道士の白い海を見ることは印象的でしょう。私たちのもとに来る若者の大部分は教会に忠実でいたいと強く望み、教会と一致している宗教共同体を探し、教会に反して働こうとはしません。



今日メディアが教会を残忍に扱っていると私は思います。しかしドミニコ会士は今日の気まぐれなもの、又はハリウッドの政治的に正しいアジェンダを超えたものを生きています。私たちのもつて来る人々はある種のカトリシズムを実践する人々の共同体に入るためだけで、福音のために妻や子供という幸福をなしで済まそうとする人々ではありません。それは証しすることに失敗します。ドミニコ会士は確固たる方法で真理を示すことで戦いの最前線にいるだろうことを疑いません。人々を引き込む私たちの中世的な弁証法、私たちが説く方法、他の側面を考慮に入れつつ、真理、それは究極的にはキリストですが、それを絶えず探そうとすること、これが今日、あらゆる人々に魅力があるのでしょうか。



ワシントンD.C.のドミニコ会学習センターに若者が来ると、そこで普通の男たちに出会います。彼らは敬虔で、男性的で、教会に忠実で、幸せだが、どんな代償があろうとキリストに従う用意がある人々です。若者が私たちを注意して見ているのは私たちの知的なアプローチのためだけでなく、私たちの正統性又は教会の中にあるイエス・キリストの教えに忠実であることのためであるということは正しいと思います。これは戦略ではなく、ただ単純に私たち自身が何者かということです。ドミニコ会士には人々がイエス・キリストの真理を見ることを助ける長い伝統があります。

もし戦略があるとするなら、確かに新しいメディアがあります。私たちの修道士がかかわっている様々なプロジェクトがあります。たとえば、私たちの修道士が行っていることを知るためにだけにオンラインビデオ（Kindly Light Mediaは今Blackfriar filmsに変わりました）、ラジオ、ホームページ、ブログ、ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッター、グーグルプラス）を使っています。また私たちの管区で起きた様々な出来事をお伝えする新しいホームページも始めました（OPEast.org）。

もちろん、ドミニコ会士の得意な典型的なことにも取り組んでいます。哲学や神学の本の著作、学術誌への記事の執筆、語ること、最も重要な説教です！プロビデンス大学で教えている兄弟たちのように、科学に従事している兄弟もいます。

